

## 環境活動

### 環境方針

当社の事業活動である眼鏡レンズ、眼鏡レンズのコーティング技術を応用した製品、コンタクトレンズの製造、販売活動が、環境に大きな影響を与えていることを認識し、以下の方針のもと、環境負荷の低減、汚染の予防、持続可能な資源の利用、気候変動緩和、生物多様性及び生態系の保護及び環境保護に努めます。

1. 環境目的及び目標を定め、定期的に見直すことにより、環境マネジメントシステムのパフォーマンスの継続的改善を推進します。
2. 環境関連の法律、条例、規制及び当社が同意する要求事項を順守するとともに、地域及びその他利害関係者の意見を尊重します。
3. 以下の取り組みを積極的に推進し、常に環境に配慮した活動を展開します。
  - (1) 省資源化、省エネルギー、節水に努めます。
  - (2) 廃棄物の削減及びリサイクルに努めます。
  - (3) 危険物及び有害化学物質の抑制・除去に努めます。
  - (4) 環境に有益な活動に努めます。

2017年12月11日  
伊藤光学工業株式会社

### ISO14001

#### ISO14001とは

ISO(国際標準化機構)が定めた「環境マネジメントシステム」の国際規格で、企業などが事業活動・製品及びサービスによって生じる環境への影響を改善するためのシステムを構築し、PDCAサイクルを回して継続的に改善していく要求事項を定めた規格のことです。

#### ISO14001認証取得

認証機関 : テュフラインランドジャパン株式会社  
認証番号 : 01 104 053263  
認証の規格 : ISO 14001:2015  
認証取得組織 : 伊藤光学工業株式会社 愛知県蒲郡市宮成町3番19号  
認証適用範囲 :

- (1) 伊藤光学工業株式会社 本社/本館工場 : 愛知県蒲郡市宮成町3番19号  
プラスチック眼鏡レンズの設計、製造及び販売、ならびにコート液の設計、販売、及びコンタクトレンズの製造
- (2) 伊藤光学工業株式会社 豊川工場 :  
愛知県豊川市穂ノ原3丁目2-8  
光学薄膜部品の設計、製造及び販売  
ならびに光学ガラスレンズの製造
- (3) 東海精密工業株式会社 :  
愛知県豊川市穂ノ原3丁目2-8  
金型の設計、製造及び販売及び、  
プラスチック成形品の製造及び販売

#### 認証取得の歩み

2007年5月 ISO14001:2004 認証取得  
2018年4月 ISO14001:2015 規格へアップグレード



## 省エネ活動

### 遮光ネットによる断熱

当社は、本社、第三工場及び豊川工場の窓に遮光ネットを設置し、日光による室温の上昇を低減させ、エアコン消費電力を削減しています。

遮断熱量 =  $98.87\text{kw/m}\cdot\text{k}$  (85,018kcal/h)

エアコンに換算 約35馬力に相当



遮光ネット

### フリークーリングシステム

#### フリークーリングシステムとは

冬季の下がった外気温を活用し、冷却塔にて冷水を作るシステムで、従来のチラー(冷媒を使用した熱交換機)による冷水を作るシステムに比べ、自然エネルギーを活用するためエネルギー消費が少ないシステムです。

当社では2008年より豊川工場にて運用を開始し、11月から3月までの間、月に約4.4tのCO<sub>2</sub>排出を削減しました。



熱交換機

### アースコンシャスシステム

#### アースコンシャスシステムとは

アースコンシャスシステムとは、一般的に「環境に配慮している」システムをさします。

当社はエアコンプレッサの集中設置と一元管理、高効率インバータ照明器具への更新に加え、LED照明、人感センサーも順次導入を行い、運転効率の改善と電力消費の削減を行っています。

月に約3.2tのCO<sub>2</sub>排出を削減出来ました。



インバータコンプレッサ



高効率照明



人感センサー+LED照明

## デマンドコントロール

### デマンドコントロールとは

毎月実測した最大需要電力(デマンド)のうち、その当月を含む過去1年間の最も大きな値が契約電力として決定されます。

基本料金は契約電力をもとに算定されるので、最大需要電力を管理することで基本料金を節約する事が出来ます。(引用:中部電力 HP)

当社は、通年の電力ピークである7月から9月の電力ピーク値をカットするため、デマンドコントローラ(監視装置)による管理を実施しています。

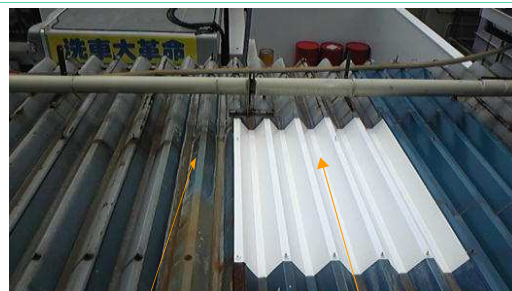


デマンドコントローラ

## 遮熱塗装

当社は、2011年度に本社工場の屋根に遮熱塗装を施し、室内温度の上昇の軽減を開始しました。

2012年度は、第二工場及び第五工場の屋根にも遮熱塗装を施し、室内温度の上昇の軽減させ、省エネに努めています。



通常塗装  
52℃



遮熱塗装  
42℃



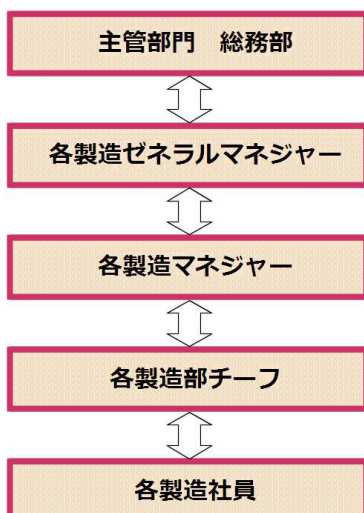
写真は、試験時の比較写真  
(気温 32℃ 通常塗装 52℃、遮熱塗装 42℃)

## 地球温暖化対策

### 地球温暖化の対策の推進に関する方針

当社は、地球温暖化対策の重要性を認識し、事業活動に伴う温室効果ガスの排出を各部門における取り組みにより減少傾向に転換させる努力をするとともに、その取り組みを通じて、持続的発展が可能な社会の実現を目指していきます。

### 地球温暖化の対策の推進体制



### 温室効果ガスの排出の状況

排出活動	排出 係数	2016年度	
		活動量	温室効果ガス排出量
電気事業者から供給された電気の使用(一般電気事業者)	0.486	125,033 千KWH	6,298 tCO <sub>2</sub>
合計	—	—	6,298 tCO <sub>2</sub>
エネルギー原単位		—	0.5703
原単位 2015年度比率		0.5703/0.6584	86.6%

## 節水対策

当社は、製品の洗浄に多くの市水を使用するため、効率の良い純水装置の導入や、洗浄工程で発生した排水の再利用、洗浄条件の見直しなどにより使用量の削減に努めています。

## 廃棄物処理場視察

当社は年1回、廃棄物処理場の視察を行い、適正処理を確認しています。



写真は 2017.6.14 株式会社ダイセキ様(優良産廃処理業者認定取得)の視察時の風景

## グリーン購入

### グリーン購入とは

まず、物を買う段階でその製品が本当に必要かどうか十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。

当社はグリーン購入を推奨しています。

## 環境に配慮した製品設計

### Heat Guard Coat(ヒートガードコート)

当社は真空蒸着技術を進化させ、熱クラックの発生を画期的に低減することに成功しました。従来の有機 AR マゼンタ色より自然に感じられるグリーンの反射色の耐熱コートを開発。(2009年4月より発売)

## エコキャップ運動

### エコキャップ運動とは

エコキャップ運動とは、ペットボトルのキャップを回収して再資源化事業者に販売することで得られた売却益を開発途上国の医療支援のため寄贈したり、リサイクルの過程での障がい者・高齢者の雇用促進などの運動で、特定非営利法人エコキャップ推進協会が推進しています。

2009年より当社は、エコキャップ運動に賛同し、年間1万個を目標として実施、以下の個数を回収しました。

期間		個数	累計
2015年7月～ 2016年6月	1年間	18,800個	—
2016年7月～ 2017年6月	1年間	21,100個	38,900個



## 地域貢献

当社は蒲郡市「ゴミ散乱防止宣言事業」に参加し、クリーンキャンペーン、事業所周辺の清掃などを通じて、「ゴミ散乱の無い街」を啓発します。



2006年9月より蒲郡市クリーンキャンペーンに参加しています。

(左は2017年5月28日参加風景)



2015年10月より、月1回、有志にて会社周辺の清掃を実施しています。